



さくら通信

第4号

令和7年7月18日

発行者 校長 榎田 慶一



桜丘小学校の学校教育目標

～ 共に学び合い、心豊かにたくましく生きぬく子どもの育成 ～

【本年度のスローガン】 ・互いに認め合い、協力して活動する子ども ・児童・保護者に寄り添う職員集団
・キーワード 「桜丘プライド」「自己肯定感」「共感的理解」

着衣水泳を行いました



5月末からスタートした水泳の授業も7月上旬をもって終了しました。保護者の皆様には水泳カードの記入・押印、水着等の準備など大変ご苦勞をおかけいたしました。心より感謝申し上げます。

さて、どの学年も最後の授業では着衣水泳を行いました。着衣水泳の目的は、水着ではない通常の服装で海や川などに落ちた時、命を守るためにどう行動したらよいかを学ぶことです。児童からは服のまま水の中に入ると「動きにくい」「水着より浮きやすい」などの声が上がっていました。もし、水中に落ちた場合は、パニックにならず、からだの力を抜き水中から顔を出し、呼吸を確保し、浮いて

救助を待つことが大切です。着衣水泳の授業の中ではペットボトルなどを抱えて浮く練習も行いました。水の事故を未然に防ぐことが最も大切なことではありますが、これからの季節、プールや海水浴、水辺でのキャンプなどのレジャーを楽しむにしている児童も多いと思います。

もしもの時に命を落とさないトレーニングも必要です。ぜひご家庭でも、水の事故だけでなく、命を守る方法など日常から声掛け、ご指導をお願いいたします。

平和について考える



6月～8月は、「平和」について考える機会が多くあります。特に第2次世界大戦末期の沖縄戦終結(6月23日)、広島(8月6日)、長崎(8月9日)での原子力爆弾の投下、そして終戦(8月15日)については、悲惨な戦争を繰り返さないためにも学びを深めておく必要があります。

また、私たちが住む北九州市も八幡地区では8月8日の大空襲により火の海となりました。その煙が風で小倉に流れたことによって原爆投下の第1目標であった小倉の落下地点が見えず第2目標だった長崎に原爆が投下されたと言われています。一つ状況が違えば今の私たちはこの世に存在しなかった可能性さえあるともいえます。

さて、1945年の終戦から80年が経過し、戦争を体験した世代の方々も減ってきており、そのような方々から話を聞ける機会も少なくなってきました。それを踏まえて、私たち、戦争を知らない世代の人たちができることは戦争の悲惨さを書籍やメディアを通して学び、命の大切さを次の世代へ伝えていくことだと思います。そのためには、過去に私たちの国で何が起きたのかを学ばなくてはなりません。先に述べた、1945年(昭和20年)の出来事、沖縄戦、広島原爆投下、八幡大空襲、長崎原爆投下、そして、終戦記念日についてはぜひ知っておかなくてはならない日です。

夏休み中は楽しい時間を過ごしながらも、日本が歩んだつらく悲しい過去を学ぶ時間をご家庭で大切にしていきたいと思います。



～夏休み 生活リズムを大切に～

夏休みに入ると「学校へ行く」が無くなるだけで生活リズムが崩れがちです。夏休み前の全校集会では子ども達に「夏休みの生活のありかた」について話をしています。「学校が休みでも自分で計画的にきちんとリズムを整えて生活できる」ことが大切であると伝えています。

また、夏休みは子ども達が日頃お家の人にしてもらっている事に感謝の気持ちを持ち、家族の一員として、家族の為に活動できるよい機会です。食器洗い・洗濯・洗濯物干し・洗濯物をたたむ・部屋掃除・お風呂掃除・簡単な料理など。そして、毎日お家の人から「ありがとう」を言ってもらうことで、子どもは自立に向けて自信をつけます。どうぞ、下記に示す事をお子様と話し合い、実践できるようにお力添えしていただければ幸いです。



①夏休み中の1日のスケジュールを立てる。

(例) 6:30起床・洗顔・着替え 7:00朝食・片付け 8:00宿題・自主学習 10:00自由時間 など

②お家の仕事で何ができるかを決める。仕方や手順を教える。

(例) 食器の洗い方 洗剤の入れ方や洗濯機の回し方 ご飯の炊き方 お風呂掃除の仕方 ゴミの出し方 など

③宿題や自主学習の計画を立てる。

(例) 夏休みのスケジュール等を考え、宿題や自主学習の実施計画を立て実行 など

また、「夏休みの過ごし方」についてプリントを配布していますのでご家庭でお子様と一緒にご確認ください。夏休み終了後の授業再スタートは8月26日(火)です。子ども達が誰一人命を落とさず、元気に登校できることを祈っています。

最後に、保護者の皆様には4月から7月の間、本校の教育活動にご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。旧2学期の期間は修学旅行、運動会、自然教室等、大きな行事が行われます。どうかお力添えのほどよろしくお願いいたします。